

# 体育祭



パワーをいただいた体育祭

広報委員 江口紀代子

「ピーッ」

空高く響き渡る笛の音。第六十八回体育祭の始まりです。今年度は記念すべき創立百十周年。百十周年に相応しい快晴の中、OB、OGの方々も高校時代を思い出されながら綱引き、フォークダンス、玉入れに参加されました。

綱引きでは現役高校生に負けまいと、かけ声も調子よく皆さん力を合わせて見事勝利！三年生の頃を思い出すフォークダンスでは生徒以上に満面の笑み。きっと楽しかった高校時代を思い出されたのでしょうか。PTA種目の玉入れでは保護者と一体になり、お手玉を必死にかき集め、両手いっぱい掴んだまま籠の中めがけて放り込み、時には頭にお手玉を受けながら一心不乱に玉入れに参加されていました。そんな温かい光景を拝見させていただきながら、このようなOB、OGの方々のように古巣である甲南高校の行事に参加できる人間になってほしいと願わずにはいられませんでした。

例年以上に賑やかかつ盛大となった体育祭。在校生、先生方、保護者、そしてOB、OGの方々と一緒にあった体育祭だったように感じ、またこのような節目の年に参加できたことが大変光栄でした。



体育館での昼食風景



バザー風景

# 文化祭

バザーのお手伝いに参加して

広報委員 田原 朋子

文化祭当日に開催されたバザーでは、PTAの役員も一緒に準備・販売のお手伝いをしました。そのときの様子をご紹介します。バザー前日。生徒会主催のバザーとあわせて、係の生徒さんと共に声を掛け二甲記念館のフロアは、二時間ほどで、バザ食品・手作り品と皆様から寄せられた提供分けの作業は大変でした。特に値付けの作業を聞きながらの頭を悩ませる作業となり、買うと高いんだよね。これ僕が明日買おうと決めて振り向くと、提供品の中からありました。その無邪気な様子に、いくらかももらいました。彼が翌日ゴルフボールを買ります。

バザー当日。会計の生徒さんと共に、緊張りのお客様は、迷うことなく次々に品物を買ってきたので驚きました。どうやらオープン前ようです。会場には毎年バザーを楽しみに洗剤や固形石けん、ラップなどの日用品がありました。この文化祭バザーが、高校と地域知りました。

創立百十周年記念の今年、二甲記念館のブースも設けられ、活気に満ちたバザー『甲南生の実行力』の凄さは、同窓生の母だなぁと実感しました。そして、両日のPTA体験ができました。

さて、甲南高校文化祭バザー未経験の方での『お宝探し』をご一緒にいかがでしょ



# 祝 創立 110 周年



百十周年記念おめでとうございます。

PTA 副会長 児玉由加利

十一月十九日。前夜までの雨が嘘のような緑鮮やかな佳き日に、創立百十周年記念式典が開催されました。式典に先立って追思の碑前では亡師亡友慰霊祭が行われ、続いて、この地を祝福するかのように明るくなっていく空の下、体育館にて記念式典が粛々と執り行われました。来賓の方々からの有難いお祝いの言葉、生徒代表による喜びの言葉と二中・二高女校歌披露、そして参列者全員により甲南高校校歌が熱く歌われました。式典後には三井化学(株)の川島信之氏(甲南二三期)をお招きして記念講演が行われ、赤崎先生に随行されたノーベル賞授賞式のことなど貴重なお話をいただきました。

この日は、子供達が毎日通う鹿児島県立甲南高等学校が、百十年という長い歴史と、四万二千人余りの卒業生で紡いできた伝統を、今も脈々と受け継いでいるという真実に深い感銘を感じる日となりました。今まさにその節目に立ち会えた子供達。同じ時代に同じ学び舎で出会った縁を大切に、理想の嶺は高くとも「一生甲南」であることを誇りに、今後の人生を力強く歩いていくことを願います。

母校を愛する諸先輩方からの温かい大きなご支援と、いつも様々な面でご指導してください。校長先生をはじめ諸先生方に、あらためて心より感謝申し上げます。

張しながらオープンを待ちました。一番乗りに取ると、まっすぐに会計に向かって下見を終え『お宝探し』を済ませていたと話すと、近隣の常連さんもお宝探しの話をして、もっと欲しいといったリクエストをもらいをつなぐ大切な役割を果たしていることも同フロアに同窓生による記念グッズ販売になりました。行事の度に思うことですが、交差を見て、こうして受け継がれているPTA活動を通して多くのことを知る貴重な機会です。来年は是非提供品の御協力と共に、会場